

第 2 2 回 警察署協議会連絡会議

開催日時	令和 6 年 11 月 28 日（木）午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分	
開催場所	奈良県警察本部第二会議室	
出席者	警察署協議会	近田会長（奈良）、佐野会長（生駒）、池下会長（郡山） 岡嶋会長（西和）、橋本会長（天理）、坂口会長（桜井） 小西副会長（橿原）、瀧水会長（高田）、畑守会長（香芝） 谷向会長（五條）、田尾副会長（吉野）
	公安委員会	和田林委員長
	警察本部	宮西本部長、泉警務部長、川本特命参事官 増田県民サービス課長
	事務局	吉崎広報官（司会）、八木補佐
議事等概要	1 奈良県公安委員会委員長挨拶 平素から、警察署協議会の運営にご尽力いただき、お礼申し上げます。 警察署協議会は「警察改革」の大きな柱の一つである「国民のための警察の確立」を実現するため、平成 13 年 6 月に設置された。県警察にあっては、12 警察署の協議会委員 153 名を委嘱し、地域住民の方々の意見を警察行政に反映させるべく、鋭意、活動いただいている。公安委員会としては、県民の代表である各委員から、意見や提言をいただき、県民の視線や立場に立った警察活動をより一層、強力に推進するよう県警を督励する。 2 警察本部長挨拶 平素から、警察活動拡販にわたりご支援、ご協力を賜りお礼申し上げます。 県内の治安情勢は、特殊詐欺や SNS 型投資・ロマンス詐欺の発生が依然として止まず、発生件数、被害額が共に過去最高となっているほか、闇バイトと呼ばれる SNS 等で実行犯を募集する手口による強盗等の犯罪が大きな脅威となっている。また、元日に石川県能登半島地域で発生した大地震のような災害も、いつどこで発生するか予想がつかないことから、災害に対する備えも万全にしなければならない。県警では、これら防犯、防災、交通安全等の取組について、県民への情報発信に力を入れており、ホームページや SNS に加え、県警独自のアプリ「ナポリス」を運用している。今後も積極的かつ効果的な警察広報を推進してい	

くために、皆様の知見をいただきたい。

3 出席者紹介

司会から、警察署協議会代表者、公安委員会委員長、警察本部の出席者の順で紹介した。

4 警察署協議会の活動事例発表

3 警察署協議会（奈良警察署協議会、生駒警察署協議会、郡山警察署協議会）の会長が活動事例を交えた取組を発表の上、意見交換を行った。

ア 効果的な特殊詐欺被害防止対策について（奈良警察署協議会）

＜発表の要旨＞

特殊詐欺や、急増しているSNS型投資詐欺等の被害を防止する効果的な方策について諮問を受け、奈良警察署に対し、「オレオレ詐欺などの特殊詐欺は高齢者が被害に遭うケースが多いが、投資詐欺は中高年代が被害に遭っていることから、幅広い年代を対象とした啓発活動が必要である。InstagramやエックスなどのSNSの活用も検討していただきたい。」との答申を行った、

奈良警察署には、この提言を受けた対応として、

- ・ 管内の高校生に制作を依頼した特殊詐欺被害防止啓発POPを、老若男女が訪れる回転寿司店のレーンに寄せ、来客の目にとまるメッセージで呼びかける。
- ・ 管内高校の放送部にアナウンスを依頼して録音した啓発メッセージを、パトカーやスポーツイベント等で流して多くの方に聞いてもらう。
- ・ 管内菓子店の協力を得て「あやしい投資はさせませんべい」を制作。せんべいの焼き印に詐欺防止のメッセージを添えて啓発活動で配布し、多くの方に手に取ってもらう。
- ・ これらの活動をSNSで積極的に発信する。

等の工夫をこらした対応を迅速に取っていただいた。

イ 警察からの情報発信方策について～安全・安心アプリ「ナポリス」の普及方針策～（生駒警察署協議会）

＜発表の要旨＞

発表に先立ち、県内で一番古い警察署であった生駒警察署が、先日、新庁舎となり大変喜んでいる。今後とも住民と警察が力を合わせて生駒警察署を盛り上げていきたい。

さて、生駒警察署では委員12名が諮問されたテーマについて意見交換した。アプリの機能について改めて紹介するのは割愛するが、アプリを使用しようと思っても、いざ自分でインストールするとなると、それがなかなかできない。

そこで、警察署協議会で意見を出し、みんなで教えあって、まずは警察署協議会委員がアプリをインストールして使えるようになり、得た知識をそれぞれが周囲の人たちに教え合い、広めていくというようにしていった。いろんな啓発をしていただいているが、チラシなどを受け取るだけでは実行に移すのは難しい。私たちは、警察署協議会委員自ら地域で行動を起こすということを実践している。普段からこのアプリを使用していると、いざ不審な電話が掛かってきたときに時に慌てずに済み、良いアプリである。警察署協議会が住民と警察の橋渡しとして広めていくのが大事と実感し、警察の思いを住民に伝えていく役目を果たしていければと感じた。

話は変わるが、昨年、交番だよりのコンクールを実施した。高齢者でも分かりやすいデザインの作品など、警察署協議会として表彰する取組があった。交番の警察官がより地域に密着していただくことになったのではないか。

《発表に対する質疑》

Q. 交番だよりの作成が業務負担だという声はないか。

A. 交番の警察官の士気向上にとっても有効だと思う。負担と感ずることなく、チャンスを狙ってやる気を起こしてほしい。警察官が頑張ってくると隅々まで読もうという気になる。高齢者でも分かるような文章がこれから重要だと思った。

ウ 効果的な災害対策（郡山警察署協議会）

<発表の要旨>

郡山警察署から「効果的な災害対策」について諮問を受け、協議会委員で議論した結果、「市民が行う災害訓練に警察が参画する」「災害に備えた事態対処能力を向上させる」との答申を行った。

これらの提言を受け、郡山署では次のような取組を行っていただいた。

- ・ 自治会組織と協働した合同避難訓練の実施
- ・ 災害に関する講演の開催
- ・ 署内研修において、能登半島地震の被災地へ派遣された警察官による体験談を発表し経験を共有
- ・ 警察署協議会后に、協議会委員で機動隊、交通機動隊の訓練場所において、災害警備の車両や資機材、オフロード車等を視察。災害への備えの体制を確認し、頼もしく感じた。
- ・ 災害マニュアルの目標は、マニュアルが必要となる時までに、マニュアルを必要としない人を作ること。災害が発生してからマニュアルを読むということなく、日頃から災害に対する訓練、教養をしていくとともに、住民との連携を重視して防災意識を持って生活する必要がある。そのためには日頃からの備えが必要と感じた。

(4) 総括コメント

ア 警察本部長

本日はありがとうございました。皆様から様々なご意見をいただき、有意義な議論になったと感じている。本日、こうして議論したことを各警察署協議会に持ち帰っていただき、各協議会で活用していただきたい。また、警察としても各警察署で活用していくよう進めていく。

本日は、「特殊詐欺」や安全安心アプリ「ナポリス」、「災害対策」ということについて議論していただいたが、以前では警察が情報発信すると、それをマスコミがテレビや新聞で取り上げてくれ、視聴者・読者がお茶の間で話題に取り上げてくれていた。ところが、現在ではそのような形での情報の広がり期待できなくなっている。そこで、SNSや自治会など地域の繋がりで広めていく、また、啓発物品等で何らかの形で多くの人に見ていただくというのが犯罪被害防止、また、災害の対応力を高める上で大事である。警察としても、様々な方々と連携していくが、警察としてどうすべきかご提言いただけるとありがたい。

イ 奈良県公安委員会委員長

本日の会議で紹介していただいた事例やご意見を、今後の協議会運営の参考にしていただきたい。また、警察本部においては、今後の業務運営に反映していただくようお願いする。結びに、本県の各警察署協議会が効果的に運営され、所期の目的を達成されるよう、公安委員会としても必要な連絡及び調整を図っていきたいと考えているので、ご理解とご協力をお願いする。本日はありがとうございました。